

北大サ第20号
平成28年7月13日

関係各国公私立大学長
殿
関係各研究・医療機関長

東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
センター長 谷内一彦
(公印省略)

平成28年度放射性同位元素等取扱施設安全管理
担当教職員研修の開催について（照会）

標記のことについて、大学等における放射線安全管理担当教職員の資質向上と放射線施設の安全の確保を図るため毎年開催しています標記研修を、本年度は東北大学が担当校として開催いたします。

つきましては、別紙により実施しますので、関係者に周知いただき、研修希望者がある場合は、平成28年8月19日(金)【必着】までに、別紙様式により、本センターまで申込願います。

なお、希望者がいない場合においても、その旨回答をお願いします。

平成28年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修 実施要領

1. 目的及び経緯

大学等における放射性同位元素の利用範囲の拡大や利用形態の多様化に伴い、放射線安全管理の徹底を図ることが益々重要となってきている。このため、大学等の放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員に対し、実習を含めた最新の知識と情報を提供し、その資質向上を図り、もって教育・研究の進展及び施設周辺をも含めた放射線安全の確保を図ることを目的とする。

この研修は平成15年度までは、文部科学省と国立大学アイソトープ総合センターの主催によって開催されてきたが、平成16年4月の国立大学法人化後、文部科学省との共催は困難になった。しかし、同研修の重要性に鑑み、北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学の7大学アイソトープ総合センターが、研修実施担当校を持ち回りで開催することとした。

平成28年度は、東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンターを会場として開催することとなり、同センターで受講申込みを受け付ける。

2. 主催

北海道大学アイソトープ総合センター
東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
東京大学アイソトープ総合センター
名古屋大学アイソトープ総合センター
京都大学環境安全保健機構放射性同位元素総合センター
大阪大学ラジオアイソトープ総合センター
九州大学アイソトープ総合安全管理センター

3. 研修期間及び会場

期間：平成28年9月29日（木）～30日（金）
会場：東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター

4. 受講資格

- (1) 各大学等の放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員であること。
- (2) 受講申し込み時点までに所属機関で放射線業務従事者として登録されていること。

5. 受講定員

約40名

6. 申込及び決定

(1) 申込

各大学等の長は、希望者を別紙（様式1、2）により、平成28年8月19日（金）【必着】までに、東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長に推薦願います。（2名以上の場合は優先順位を付して下さい。）

なお、希望者がいない場合は、別紙様式1の「事務連絡先」欄のみ記入のうえ、その旨回答願います。

(2) 受講者の決定

東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長は、前項により推薦された者の中から協議のうえ、受講者を決定し受講申込者の所属大学等の長に通知します。

7. 研修課題及び内容

近年、大学等に所属する研究者の加速器（学外機関の加速器も含む）利用件数は増えてきており、また、新たに学内に加速器を設置する大学等も増えてきています。それに対し、大学等の安全管理担当教職員等には、加速器の利用経験やR I生成に関する知識の無い方々が数多くいます。そのような方々は、教育訓練や施設・放射線業務従事者の安全管理を行う上で情報不足のために大変苦勞されていると聞いています。

そこで、今回の研修の総合テーマは『加速器施設の利用』とします。講義では、全国の大型加速器施設から講師を招き、各施設において利用者がどのような実験・作業を行っているのかを紹介していただきます。更に、加速器自体やそれに対する安全管理に関する講義も行います。また実習では、サイクロトロンを用いた照射実験を行うことにより、加速器実験・R I製造を実際に経験していただきます。この研修で得られる加速器・R I生成に関する経験や知識が、受講者が今後行う教育訓練や施設・放射線業務従事者の安全管理に対しての一助となれば幸いです。

研修内容

(1) 講義と実習『加速器施設の利用』

加速器に関する講義および実習を行います。実習では、サイクロトロンで実際に試料を照射し、試料中に生成されたR IをGe半導体検出器で測定することにより、核反応の励起関数の測定を行っていただきます。

(2) 特別講演

原子力規制委員会原子力規制庁放射線対策・保障措置課放射線規制室室長または担当官

(3) サイクロトロン見学

8. 経費

研修費（受講料）は無料とし、研修旅費は派遣する大学等の負担とします。

9. 受講申込・問い合わせ

(1) 受講申込先

東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター事務室

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

電 話：022-795-7800

F A X：022-795-7997

E-mail：kensyu2016@cyric.tohoku.ac.jp

(2) 問い合わせ先

東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター・教授 渡部浩司

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

電 話：022-795-7808

F A X：022-795-7809

E-mail：watabe@cyric.tohoku.ac.jp

申込書は東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンターホームページ（<http://www.cyric.tohoku.ac.jp>）からもダウンロード可能です。